

# 那加三地区だより

やさしい心とおもいやり あなたがひろげる福祉の輪

平成27年9月15日 No.57

編集・発行



那加三地区  
社会福祉協議会

## ささえあう那加三地区をめざして!!

### 近隣ケアグループ研修会実施

#### 1.代表者懇談会 (5/15) 出席者35名

那加三地区には、27の近隣ケアグループがあります。その代表者による懇談会を実施しました。代表者同士が顔を合わせ、よりよいケア活動を行うために、次のような内容について情報を交流しました。

- ①代表者やグループ員の選出方法
- ②近隣ケアグループと自治会の連携状況
- ③ケアグループ内での情報交換の方法



#### 2.第1回研修会 (6/16) 出席者107名

近隣ケアグループ員、自治会長、民生・児童委員が参加して開催しました。市社協の川瀬初美主査から、近隣ケアグループの役割や見守り活動のあり方について学びました。続いて、地域包括支援センターの野村聡センター長から、包括支援センターの活用の仕方について学びました。急激に高まる高齢化率の表から、「地域でささえあう近隣ケア活動」の大切さを改めて実感しました。



#### 高齢化率・3年間の変化

	H.27	H.26	H.25
那加三地区	26.1%	25.3%	24.8%
各務原市	25.7%	24.8%	23.6%
岐阜県	27.7%	26.8%	25.7%

※H27.4月1日現在

### 近隣ケアグループ研修会アンケート結果

※一部抜粋

- ケアグループ出席者数 63名
- アンケート回収数 59名
- 回収率 94%

#### ① 近隣ケアグループの経験年数について

経験年数	1年	2~4年	7年	10年以上	合計
人数	47	7	3	2	59
構成比(%)	79.7	11.9	5.0	3.4	100

#### ② 研修の内容について

経験年数	1年	2~4年	7年	10年以上	合計	構成比(%)
よくわかった	26	5	1	2	34	58
ほぼわかった	19	2	2	0	23	39
わかりにくかった	2	0	0	0	2	3
計	47	7	3	2	59	100

#### ③ 日頃のケア活動で感じていること

- 今まで挨拶だけだったのが一言、二言と言葉を交わすようになった。
- 「ありがとう」「楽しみにしていたよ」等の言葉を受けると優しい心に包まれて幸せな気分になる。
- 家を留守にされる時、一声かけてくれるようになった。
- 世代の違う方と交流がもてるようになった。近所にどんな方が住んでいるのか分かった。
- 近隣ケアグループの一員という意識をもつようになり、近所の方の様子など、気にかけるようになった。
- 役員決めの時、「若い方にやってほしい」というのはおかしいと思う。高齢化してくるのだから、元気な方はお互い活動した方がよいと思う。

・・・校区の皆さまへ・・・

# わが校の福祉教育

## 我が校の福祉教育

那加中学校  
校長 加藤 勝祥



本校の福祉教育はキャリア教育の一環の中で行われています。中学時代から自分の将来を考えることは、大切なことです。

中1は自分の家族や周りの職業を知る。中3は上級学校(高校や専門学校)を知るところを年間を通して行っています。そして、中2は実際に活動する職場体験活動をメインに「働くということ」を学んでいます。校区を中心に30箇所以上の事業所をお願いし、様々な職業を体験します。その中には福祉関係施設も多くあります。福祉関係で体験した生徒はとりわけ人間として成長して帰って来ます。しかし、人数制限もあって、多くの生徒には参加させられませんので残念に思っていました。この那加三地区社協が提供していただける福祉を学ぶ会のおかげで大半の生徒に「介護とは」の部分はしっかりと学ぶことができます。校区中心に4箇所の介護施設にお邪魔してきます。語らいと合唱を聴いていただくという穏やかな時間を過ごしていきます。

具体的な進路や生き方を中学時代から考えることは難しいかも知れませんが、考える場所をいくつも用意してやるのが、中学校の役割だと思います。働く意義に加え「思いやりと温かさ」を提供いただけます施設の方やお世話いただきます地区社協の皆さんに感謝いたします。

## のぼり旗ができました



地区社協の活動をどこで開催しているか皆様に分かりやすいように、のぼり旗を作りました。

盆踊りの福祉の店やふれあいフェスティバルのチャリティバザー等の行事やいろいろな会合で活用します。

## 感謝する心から

那加第三小学校  
校長 大橋 久也



那加第三小学校に赴任して、約2ヶ月が経ちました。このわずかな間に、子どもたちがいかに多くの方々から様々な場面で守られ、ご支援いただいているかということを実感しました。家族はもちろん、地域の多くの大人や組織からたくさんの愛情を受けています。

私は、それが子どもたちの「学び」へつながり、成長と共に実践していく「福祉活動」の基礎固めになると信じ、感謝しています。見まもり隊の皆さんに文字通り「見守って」いただく経験。地域の祭り等の行事に参加し、楽しい経験を十分に満喫。ときには、学習のアドバイスも。小学校の時期には、地域の活動を通して地域の方々の温かい心に十分に触れる必要があると考えています。そして、最も大切なことは、守られていることが心地よく、地域に飛び込んでいくことが楽しいという経験を重ねると共に、そうした活動を仕組んでくださる方々への「感謝の心」をしっかりと育てていく必要があると感じています。なぜなら、この感謝の心が、彼らが成長して何かできるようになったとき、地域への恩返しという形で行動につながっていくものであると考えるからです。地域の溢れんばかりの愛情に感謝いたします。

## 書中見舞いはがき

～心を込めて書きました～

今年も那加第三小学校の5・6年生の皆さんが、111人のお年寄りに222枚のはがきを書いてくれました。やさしい心をありがとう。



## 第20回夏祭り盆踊り大会 (8/1)



エンジェルハウス	9,100円
あしたの会 共働学校	6,000円
虹の家・友愛の家	15,150円
星の村	9,400円
合計	39,650円

那加三小校区自治会連合会主催の夏祭り盆踊り大会に那加三地区社協も「福祉の店」を出店しました。



校区の皆様の温かいご協力をいただきました。売上金は、左記の授産施設へお渡ししました。

